

# かがやき

学校だより第4号  
令和5年6月30日  
草津市立山田小学校  
TEL 563-3744  
FAX 563-3788



や	やさしく・・・人権を大切にする	いじめを許さない
ま	まけない・・・よく考え	ねばり強くやりぬく
だ	ダイナミック・・・たくましく力強く	生き生きとしている

## 自己決定を促し 子どもの自尊感情を育む



歌声集会では、がんばり所を自分で決めてやり切り、子どもたちは素敵な歌声を体育館に響かせました。また、そんな子どもたちのがんばりをその場で、他学年児童や保護者等に拍手でたたえってもらうこともでき、コロナ禍では味わえなかった豊かな経験を積むことができました。歌声集会や同和教育講演会にご参加いただき、誠にありがとうございました。

さて、6月には教育相談強化月間を設定し、子どもたちが少しでも安心して過ごせるよう、一人ひとりと時間をとって話す機会を設けました。ただ、その機会に、みんなが思いのすべてを話せているとは限りません。また、困ったことは、心配をかけまいと、なかなか話せないということも起こり得ます。では、子どもが大人を安心・信頼し、いいことも困ったことも話せるためには、普段からどんな関わりを大切にするといいのでしょうか。

普段、私たちは子どもの「できた」や「できていない」を見ては様々な声をかけます。ただ、「できていない」結果ばかりをしかると、言動の判断基準が「怒られるかどうか」に偏ってしまうとともに、「どうせ自分なんて」と自尊感情を削り、不安感を高めます。逆に、「できた」ことだけをほめていると、できない自分を受け入れられなくなり、「きちんとしなければいけない」と過度に思う自分に縛られ、かえって自尊感情を低下させることがあります。結果ばかりをほめたりしかったりしていると、子どもは不安感を高めることになりかねません。

待ったなしに、指導しなければならないときもありますが、子どもに自己決定の場を与えて、その後を見届けることは大切にしたい関わりの一つです。そのとき、結果だけでなく「やろうとしている」とか「それを自分で決めている」という意志や姿勢、努力の過程に気づき、すかさず認めたりほめたりできると、子どもは安心感を高め、自尊感情を育むことにつながります。また、意志や姿勢、努力の過程をほめるだけでなく、失敗したり弱みを見せたりしたときにこそ、その姿を認め、受け止めると、子どもは今の自分で大丈夫だと安心感を高め、信頼します。そして、その人こそ困ったことがあれば相談できる人の一人になり得ます。

自己決定を促し、自分でやろうとする意志や姿勢を確かめる。心配ごとや戸惑いがあれば受け止め、子どもの自尊感情を少しでも育めるよう、日頃からの関わりを引き続き大切にします。各ご家庭でもよろしく願います。 校長 石井 秀樹

